

3期目の折り返しにあたり



愛南町長 清水 雅文まさふみ

明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、ご健勝にて輝かしい新春をお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、旧年中は町行政の各般にわたり、深いご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、多くの行事に「平成最後」という冠を見聞きします

が、平成の時代は災害の数も規模も昭和と比べて大きくなったというのが実感であります。平成七年から始まっている今年の漢字も、昨年は二度目の「災」に決まるなど阪神大震災に続き東日本大震災、そして熊本地震に北海道地震と頻発する地震に加え、相次いで発生する台風に豪雨災害等まさに災害列島と言わざるを得ない状況となっております。昨年7月には、西日本豪雨災害により、町内はもとより県内外多くの皆さまが被災され、今もって復興の途上であります。特に今回は、国道56号線が唯一の生命線である愛南町にとって、県境付近で宿毛市方面への通行が一時寸断したことからも、命の道として避難・救援・輸送に効果を発揮する高速道路が不可欠であることを改めて強く感じたところであります。ま

た、今春には(株)愛南サン・フィッシュによる待望の本格的な水産加工施設が稼働予定であり、愛情込めて育てられた各種の養殖魚が、安全・安心・高品質の愛南ブランドとして全国に発信されるためにも、宿毛く内海間の早期実現は必須であり、引き続きオール愛南の体制による関係機関への要望活動を行っていきたいと考えております。

さて私は、ちょうど3期目の折り返しを過ぎたところではありますが、以前3期目に向けての議員の一般質問に対し、合併時の住民の思いが込められた新町建設計画の重点施策の中で、唯一手がけられていない「住民集いの館」を図書館と捉え、全ての世代の方々が集い、憩い、学ぶことのできる生涯学習の拠点施設を実現させたいとの思いを述べさせていただきました。そ

れにより「図書館整備検討懇話会」を設置させていただき、その答申を尊重し、基本構想の策定に取りかかっているところでもあります。そのような中、先般、議会におきましても「図書館等建設検討特別委員会」を設置していただきました。今後は、町民の代表機関である議会と課題を共有しながら、図書館と一体となる交流拠点施設の必要性について、原点に立ち返り、議論を深め、町民の皆さまに理解される方向性を見出して参りたいと考えております。

本年が町民の皆さまにとりましても、幸多き飛躍の年となりますことをご心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

議会の活性化に向けて



愛南町議会議長 宮下 一郎
いちろう

明けましておめでとうございます。
ます。

皆さまにおかれましては、健康で希望に満ちた新春を迎えられましたことを、議会を代表いたしまして謹んでお喜び申し上げます。

また、平素より議会活動並びに町政に対し、ご理解とご協力をいただきますことに心からお礼申し上げます。

昨年、愛南町議会では、9月

にタブレット端末を導入して、時と場所を選ぶことなく情報を共有できるICT化による「業務の効率化」を図っています。

さらに議会改革の旗のもと議会活性化特別委員会を全会一致により発足し、「開かれた議会」に向け邁進しているところであります。現在は議員定数の適正化・議員報酬の見直し等、議会のあり方を含め協議を進めています。

また、町民の皆さまから様々な声や今後の町政に向けてのご意見をお聞かせ願う場をつくれたらと考えていますので、その際にはぜひご意見やお力をお借りしたいと存じます。

そのほかに、現在協議を進めています図書館等建設について、「知の拠点」としての図書機能を始め、「交流の場」としての複合施設の必要性につい

て、12月議会において「図書館等建設検討特別委員会」を設置し、審議をしています。

町は、今後住民説明会を予定していることですが、ぜひ皆さまも未来ある子どもたちのために、また皆さまが集う施設として、より良い施設のあり方・必要性について、充分なご意見をいただきたいと思えます。

近年、全国的に地震や風水害等に見舞われていますが、本町に目を転じますと、昨年、西日本豪雨災害において、国道56号線への落石等により宿毛市方面への交通網が一時寸断される被害を受け、改めて防災・減災に努めることは言うまでもなく、今後起こるであろう大災害からの、迅速な復旧・復興の核としての道路網の整備が急務である

一丸となつて高速道路の早期延伸に向けての要望を推進し、一日も早い「命の道」の完成を強く願うところであります。

今年は、「平成」から新しい元号へと変わる節目の年です。また来年2020年には東京オリンピックを控え、更なる飛躍の年となることをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

あけまして
おめでとうございます

